# 地域再生計画

## １　地域再生計画の名称

第２期忠岡町まち・ひと・しごと創生推進計画

## ２　地域再生計画の作成主体の名称

大阪府泉北郡忠岡町

## ３　地域再生計画の区域

大阪府泉北郡忠岡町の全域

## ４　地域再生計画の目標

本町の人口は、2013 年の 17,988 人をピークに減少しており、住民基本台帳によると 2024 年には 16,573 人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、2050 年には総人口が 11,699 人となる見込みである。

近年の年齢３区分別の人口動向を見ると、生産年齢人口は減少傾向が続いており、1995 年の 11,770 人から 2024 年には 10,023 人へと減少している。年少人口についても、2008 年の 2,848 人をピークに一貫して減少し、2024 年には 1,835 人となっている。一方で、老年人口は長期的には増加傾向にあるものの、2019 年の 4,885 人をピークに近年はわずかに減少しており、2024 年には 4,715 人となっている。しかし、総人口自体が減少しているため、老年人口の割合は上昇しており、高齢化率は 1995 年の 13.4％から 2024 年には 28.4％に達している。

本町の自然動態をみると、2000 年代以降、出生数は減少傾向が続く一方で、死亡数は増加傾向にある。その結果、2010 年には出生数が死亡数を下回り、以降は自然減の状態が継続しており、2023 年には出生数 89 人に対し死亡数 251 人となり、162 人の自然減となっている。

社会動態をみると、年ごとの変動はあるものの、2008 年以降は社会減が長期的に続いており、2024 年には転入者 551 人に対し転出者 666 人で 115 人の社会減となっている。年代別では 20 歳代前後の転出超過が大きく、就職や結婚・子育てといったライフステージの変化に伴う大阪市等の都市部への転出が社会減の一因と

なっている。こうした状況から、本町の人口減少は、出生数の減少による自然減と、若年層の転出超過による社会減が主な要因となっている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、町民の妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、安心して子育てできる環境を整えることで自然増につなげる。また、良好な住環境の形成や雇用の創出、地域経済の活性化、町の魅力向上等を通じて、人の流れを生み出し社会増の確保を図る。

なお、これらに取組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

・基本目標１　若者・子育て世代に選ばれる生活・教育環境の創造
・基本目標２　地域の稼ぐ力と多様な働き方の創出
・基本目標３　交流・関係人口拡大による地域の魅力向上
・基本目標４　健幸と安全・安心を支える地域共生基盤の強化

**【数値目標】**

| ５－２の①に掲げる事業 | ＫＰＩ | 現状値（計画開始時点） | 目標値（2030 年度） | 達成に寄与する地方版総合戦略の基本目標 |
|---|---|---|---|---|
| ア | 20 代～40 代人口 | 5,346 人 | 4,839 人 | 基本目標１ |
| | 出生数 | 100 人 | 105 人 | |
| | ただおか子育てナビ登録者数 | 156 人 | 330 人 | |
| | オンライン申請フォーム数 | 34 件 | 70 件 | |
| イ | 新設法人数（支店・営業所を含む） | 30 件 | 25 件 | 基本目標２ |
| | 忠岡町商工会会員数（町内会員） | 426 人 | 450 人 | |
| | 創業支援件数 | 49 件 | 50 件 | |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ウ | 社会増減<br>(転入者と転出者の差) | -115 人 | 転入超過 | 基本目標３ |
| | ふるさと納税寄附件数 | 6,940 件 | 8,000 件 | |
| | 正木美術館入館者数<br>(延べ) | 1,248 人 | 1,500 人 | |
| | 町公式インスタグラム<br>フォロワー数 | 1,000 人 | 2,000 人 | |
| エ | 平均寿命 | 男性 80.8 歳 | 男性 80.8 歳<br>以上 | 基本目標４ |
| | | 女性 87.5 歳 | 女性 87.5 歳<br>以上 | |
| | 健康寿命 | 男性 77.7 歳 | 男性 77.7 歳<br>以上 | |
| | | 女性 81.7 歳 | 女性 81.7 歳<br>以上 | |
| | 防犯カメラ設置台数 | 69 台 | 84 台 | |

## ５　地域再生を図るために行う事業

### ５－１ 全体の概要

５－２のとおり。

### ５－２ 第５章の特別の措置を適用して行う事業

**○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）:【Ａ２００７】**

**①　事業の名称**

第２期忠岡町まち・ひと・しごと創生推進事業

**ア　若者・子育て世代に選ばれる生活・教育環境の創造事業**

**イ　地域の稼ぐ力と多様な働き方の創出事業**

**ウ　交流・関係人口拡大による地域の魅力向上事業**

**エ　健幸と安全・安心を支える地域共生基盤の強化事業**

**②　事業の内容**

**ア　若者・子育て世代に選ばれる生活・教育環境の創造事業**

結婚・妊娠・出産・子育てまでを通じた切れ目のない支援と、学校教育・放課後・地域活動を通じた学びと体験の充実を促進する。

また、子育て世代の定住促進と教育環境の充実により、出生数の下支えと人口減少の緩和をめざし、「子育て家庭に選ばれるまち」の実現に努める。

【具体的な事業】

・結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

・子どもの居場所と安全・安心な生活環境の充実

・一人ひとりの個性と学びを支える教育の充実　等

**イ　地域の稼ぐ力と多様な働き方の創出事業**

町内企業・事業所との連携のもと、雇用・就労支援や人材確保、創業支援等を進めるとともに、駅前商業のにぎわい回復やアフターコロナを踏まえた多様な働き方の支援に取り組む。

また、職住近接とワーク・ライフ・バランスの実現を通じて、本町の「稼ぐ力」と、あらゆる人が活躍できる環境の両立をめざす。

【具体的な事業】

・誰もが活躍できる就労・雇用支援の拡充

・地元企業・事業所の経営基盤強化と創業支援

・職住近接と働きやすい環境づくり　等

**ウ　交流・関係人口拡大による地域の魅力向上事業**

だんじり祭りをはじめとする伝統行事や歴史・文化、生活利便性等、本町ならではの魅力を磨き上げるとともに、隠れた資源の発掘を推進する。

また、インターネットやSNS等も活用した発信を強化し、若者や子育て世代の流入促進、交流人口・関係人口の拡大、ふるさと納税の拡大につなげる。

【具体的な事業】

・シティプロモーションの推進

・愛着と誇りを育む地域の場づくり

・交流・関係人口拡大による地域の魅力向上　等

**エ　健幸と安全・安心を支える地域共生基盤の強化事業**

ライフステージに応じた健康づくり・介護予防・こころの健康支援を推進するとともに、防災・減災力の向上と地域共助の体制づくりを進め、災害に強く、誰もが安心して暮らし続けられるまちの実現をめざす。

【具体的な事業】

・健康寿命の延伸と介護・フレイル予防の推進

・災害・事故から命と暮らしを守る安全・安心の確保

・地域共生社会に向けた支え合い・生涯学習の推進等

※　なお、詳細は第３期忠岡町創生総合戦略のとおり。

**③　事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（ＫＰＩ））**

４の【数値目標】に同じ。

**④　寄附の金額の目安**

500,000 千円（2026 年度～2030 年度累計）

**⑤　事業の評価の方法（ＰＤＣＡサイクル）**

毎年度 10 月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式ＷＥＢサイト上で公表する。

**⑥　事業実施期間**

地域再生計画の認定の日から 2031 年３月 31 日まで

## ６　計画期間

地域再生計画の認定の日から 2031 年３月 31 日まで